奈良県　　ぬくもりの郷　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成19年9月14日

1. 外部評価結果報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2971800038
法人名	川西町
事業所名	ぬくもりの郷グループホーム
所在地	奈良県磯城郡川西町吐田94番地 （電　話）0745－42－2850

評価機関名	NPO法人　なら高齢者、障害者権利擁護ネットワーク
所在地	奈良市内侍原町8番地　ソメカワビル202号
訪問調査日	平成19年7月6日

【情報提供票より】（平成19年　7月　2日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成　12　年　7　月　1　日	
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計　　9　　人
職員数	8　人	常勤　6　人,　非常勤　2　人,　常勤換算　7．3　人

（2）建物概要

建物構造	鉄骨造り 1 階建ての　　階　～　　1 階部分

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	町内　2万・町外　5万円		その他の経費（月額）	15,000　円
敷　　金	有（　町内6万・町外15万円）			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有（　　　　円） 無○		有りの場合 償却の有無	有／無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり　780　円			

（4）利用者の概要（　7月　1日現在）

利用者人数	9 名	男性　3 名	女性　6 名
要介護1	3　名	要介護2	3　名
要介護3	3　名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢　平均	87.3 歳	最低　80 歳	最高　94 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	川西町医師会

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ぬくもりの郷は、大和川の土手下の畑や果樹が植えられた緑豊かな、静かな環境の中にあり、広い敷地内にはデイサービスや障害者の施設も併設されていて、グループホームの建物は全体がゆったりと設計され清潔に保たれている。行政の運営ではあるが、業務委託されており、管理者以下職員は委託先の法人の職員である。人事管理や研修、行事などは法人との交流がなされている。その人らしい暮しを支えるために、職員は日々取り組んでおり、入居者は皆穏やかに暮らしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）** 前回の外部評価のあと職員全員で話し合い、玄関前の看板作りをした。病院との連携については今後の課題である。 **今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）** 自己評価については、職員全員が記入し、管理者が、集約して作成した。
重点項目②	**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）** 運営推進会議が2ヶ月に1回、開催されており、形はできているが、討議内容は施設の理解を得る段階で、サービスの質の向上に向けた具体的な話し合いまでは至っていない。
重点項目③	**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）** 玄関に意見箱を置いているが、家族が直接伝えられることが多く、一部ケアに関する意見は、生かされている。年に1度家族の食事会が開催されているが、率直な意見交換の場には至っていないように思われるので、家族会のあり方を検討されてはどうか。
重点項目④	**日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）** ボランティアや民生委員などが訪れ、小学生の見学、中学生の体験学習も受け入れている。地域の文化祭やホームの催しなどにも参加しているが、日常的に地域住民との交流は少ない。住宅地から離れており立地的に孤立することのないように、ますます地域との交流に努められるよう期待する。

奈良県　　ぬくもりの郷

2. 外 部 評 価 報 告 書

（ [shaded] 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	2971800038			
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	行政の経営であり創設当時の理念はあるが、運営を委託されている事業所としての理念は定まっていない。	○	グループホームの理念と目的を混同されており、地域密着型に移行したこの機会を捉え事業所の大切にしていることや思いを入れた、独自の理念を早急に作成される予定である。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームの目的を、毎朝復唱され、実践にむけての取り組みをされているが、理念はない。		理念に添った具体的な取り組みに期待いたします。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ハーモニカ、オルガン、踊り、三味線、ハンドベルなどのボランティアの方や民生委員の方の来訪や、地域の文化祭や音楽会、委託先の特養の催しに出かけるなど、交流に努めている。中学生の体験学習や小学生の見学などの受け入れもなされている。自治会には加入していない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価に対して職員全員が意見を出し、集約して自己評価を作成している。前回の評価に対しては、全員で話し合い、玄関前に手作りのウエルカムボードを作成されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、自治会長、家族代表、地域包括センター職員、管理者で、運営推進会議が開催されている。会議の内容は、事業所の理解を得る段階で、サービス向上に向けた具体的な話し合いまでは至っていない。		積極的な取り組みに期待する。

外部	自己	2971800038			
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の運営であるため、常に意見交換ができているとのことであるが、内容の記録がない。管理者以下職員は、委託された事業所の方々で遠慮があるように見受けられる。		サービスの質の向上に向けて円滑な取り組みが行われるような関係づくりに期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便り等に寄る連絡はされていないが、家族の面会は頻回にあり、その都度報告をし、来訪の少ない家族には必要に応じて電話連絡もしている。金銭管理について事業所の金銭出納帳には、領収書を添付しきちんと管理されているが、家族の確認日やサインが抜けている。		家族の確認が明確化される工夫が望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しているが、直接伝えられることが多く、一部ケアに関しての意見は生かしている。年に1度家族会で食事会を開催しているが、活発な意見交換までは、至っていない。	○	年に1度家族会が開催されているが食事会にとどまっている。この機会を捉えて家族会とは言い難く、卒直な意見が出せるような家族会のあり方を、検討されることに期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	業務委託先の人事異動により、職員の一部が移動することもあるが、利用者が以前利用していたディや食事会などに出かけている委託先法人の職員を配置する等、ダメージを防ぐ配慮はなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム独自の研修はないが、委託先法人の年間計画に沿って、研修を受けており参加率は良い。外部研修にも参加し、報告会を兼ねて月に1度開いている会議の折に報告して共有に努めている。が開催されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人との交流は行なわれているが、他との交流はほとんど無い。	○	今後の課題だと考えておられるとおり外部研修などを利用して、外部とのネットワークを広げ、相互交流が行なえるような積極的な取り組みを期待したい。

外部	自己	2971800038			
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同一敷地内にある委託先法人の他のサービスを利用していた人が多く、顔なじみであったり、自由にホームを訪れたりして入所までに馴染んでいる方が多い。興味のある話題を話しかけるなど注意しながら関係作りをしている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	モップかけや拭き掃除、食器洗いや食器拭き、洗濯物を干したり、畳んだりお手伝いをしてくださる方が多く絵の上手な方がおられ、以前は展覧会も催したことがある。？？？		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	買い物に行きたい方は月に1、2回出かけるが、高齢化に伴い何をするのも邪魔くさい、寝ていたいと言う方が多いが、職員の声がけや家族からの情報で絵を描いたり、畑や花壇を作ったりと興味を引き出す工夫をしている。掃除や茶碗拭きなど進んでしておられる方もある。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意向を考慮して月1度のケア会議で、（夜勤以外）全員で話し合いを持ち介護計画を作成し家族に確認していただいている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度定期的に見直しを行い、ケア会議でも検討されている。変化が生じた時は、すぐにレベル低下と見ず、しっかりと観察しながら対応している。		

外部	自己	2971800038			
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊、外出は自由にしている。ショートステイのための部屋は準備されているが、今のところ実施していない。通院についても基本は家族に任せている。		今後、事業所の多機能を生かした積極的な取り組みに期待する。
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれにかかりつけ医がおられ、通院はおおむね家族がしている。	○	受診時に経過記録は家族に渡しているが、受診後の報告記録はとっていない。個人別の診療記録として充実させることが望まれる。それぞれの医師との関係がやや薄いように思われるので、急変時の対応などを考慮して、それぞれの医師とのつながりを密にするような関係作りに期待する。もう少し関係を蜜にしておくと良いのではないか。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期マニュアルにより研修は行なわれているが、事例はない。		研修は行なわれているが、現在の職員体制、医師との連携を考慮して、ホームとしての方針を定めておくのが良いと思われる。
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １．その人らしい暮らしの支援 （1）一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常に言葉掛けに注意しながら、穏やかに接している。個人ファイルを作成し、情報管理がされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には一日の流れに沿って生活支援がなされている。が、本人や家族の希望で、外出や外泊を自由にしている。朝、新聞を読んで、皆で解説するのが日課になっている。畑に水をやる、音楽療法を取り入れるなど生活にメリハリを付ける工夫もしている。		

外部	自己	2971800038			
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備（盛り付け）、片づけ〔食器洗い）と、一人ひとりが出来ることを行い、職員はさりげない介助をし共に見守っている。食事中もおしゃべりをしながら、それとなく食事の進行を促すなど介助が行なわれている。畑でできた季節の野菜が食卓を彩っていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間的には夕刻のみとなっているが、毎日入浴を楽しまれている。入浴を嫌がる方には、ケースバイケースで柔軟に対応し、ゆず湯や菖蒲湯など季節に合わせた工夫もなされている。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	段々にやる気や意識の薄れがある中で、日常の流れの中に役割や張り合いを見出せるよう、畑の水やり、食器の片付け、散歩等、「ゆっくり　あとから」をもっとうに職員は意識して支援を行っている。音楽療法、畑作業に来られる近隣の方とのおしゃべりや、ボランティアの方などお客さんが来られると喜ばれるので職員も楽し		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	歩行困難な方が増え、以前は出来た神社への散歩や遠出などが困難になり、前庭でお弁当を広げたり広い施設内を散歩したりなどの支援に変更している。	○	施設の立地条件からみて、利用者の地域との交流は少ないと思われる。気分転換やストレス発散のためにも、少人数で喫茶店に出かけたり、昼食を外で食べたり、近くをドライブするなど外出を増やす工夫をされてはどうか。
（4）安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	同敷地内の他の施設と向かい合っており、行き来も自由で職員も利用者の行動に気配りがされていて、日中鍵はかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を近々実施する予定である。行政運営の施設であるため行政協力はあるが、施設の周りには民家が無く、災害時の地域住民の協力は難しい。	○	運営推進会議を活用し、地域住民との交流を深めるたの、行政への働きかけを期待したい。

外部	自己	2971800038			
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、委託法人の計算されたメニューを基本に、ホーム独自のメニューを取り入れバランスの良い献立になっている。水分摂取量を一日1400～1600ccを目標に支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はいずれもゆったりと設計されており、清潔さに気を配り、きれいに使われている。特に、洗面所に置かれた複数の手拭き用の小さなタオルは1回ごとの使いきりで毎日洗濯され清潔に準備されている。食堂の大きな窓からは、畑や果樹の植え込みが季節を伝えており、のんびりと居心地が良い。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや物入れは施設が設置したものであるが、部屋ごとに壁紙やカーテンが違っていて、雰囲気を変えている。押入れが広く、整理しやすいこともあって家具などの持ち込みは少なく、全体にすっきりしている。	○	どの部屋もすっきり片付いているが、寂しい感じがする。本人の好みや個性を出した部屋作りができるよう行政職員も交えて工夫されることを期待する。